

「総合力のつくりハビリテーション専門職」研修会

主 催：一般社団法人 日本リハビリテーション医学教育推進機構
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会

リハビリテーション医学とは、さまざまな疾患、障害、病態などにより低下した機能と能力を回復し、残存した障害や不利益を克服するために、人々の活動を育む医学分野です。

「人々の活動を育む」リハビリテーション医学に基づいたリハビリテーション医療においては、リハビリテーション科医師と各種の専門職がリハビリテーション医療チームを組み、患者さんの治療に取り組んでいます。チーム医療では、お互いの役割を尊重し、理解し合うことが重要であります。すなわち、専門性の研鑽と職種間の融合という2つのポイントがリハビリテーション医療では大切になります。これらの課題に対処していくためには、それぞれの職種が相互に理解し専門性を学ぶ機会が必要です。

「総合力がつくりハビリテーション専門職」研修会では、日本リハビリテーション医学教育推進機構が各専門職の領域を超えてリハビリテーション医学・医療全般を幅広く学ぶために企画したものであり、指導的立場に立つリハビリテーション専門職が知っておくべき項目を幅広く学べる研修を目指しています。

講師には、臨床経験が豊富で日本を代表する先生方をお願いし、体系的かつ具体的な研修会プログラムにしています。本研修会の趣旨にご理解を頂き、多数の医療関連専門職の方々のご参加をお願い申し上げます。



日本リハビリテーション
医学教育推進機構 理事長
久保 俊一



日本急性期リハビリテーション医学会
理事長
田島 文博



京都府立医科大学
教授
三上 靖夫



産業医科大学
教授
佐伯 寛



東京慈恵会医科大学
教授
安保 雅博



横浜市立大学
教授
中村 健



岩手医科大学
教授
西村 行秀



神戸大学
教授
酒井 良忠



聖マリアンナ医科大学
教授
佐々木 信幸



和歌山県立医科大学
准教授
三上 幸夫

◆開催概要◆

1. 研修会名：総合力のつくりハビリテーション専門職研修会
2. 開催日程：オンデマンド配信 特設サイト記載の指定の期間内 お好きな時に視聴可
＜配信例＞
第1日「総論」、第2日「各論」・・・1月中旬～2月初旬
第3日「教育体制・管理運用、その他」・・・3月中旬～3月末
3. 会 場：日本リハビリテーション医学教育推進機構オンライン特設サイト上での視聴となります。
4. 参 加 費：日本リハビリテーション医学教育推進機構社員団体の会員 29,000円
(税込み) * 日本リハビリテーション医学教育推進機構社員団体の会員、社員団体法人会員関係者
社員団体は裏面の社員名簿をご参照ください。
上記以外の一般申し込み 36,000円
5. 募集期間：～2021年1月11日(月)まで
6. 申込資格：原則リハビリテーション医療チームの構成員である専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等)の方
7. 申込方法：参加申込書に必要事項を入力してお申し込み下さい。
* 詳細は別途記載情報をご確認ください。

◆研修プログラム◆

(第1日) 総論

No.	演題等 (各30分)	講師	
		所属	氏名
1	総論Ⅰ	日本リハビリテーション医学教育推進機構 理事長	久保 俊一
2	総論Ⅱ	京都府立医科大学 教授	三上 靖夫
3	理学療法	和歌山県立医科大学 療法士長	小池 有美
4	作業療法	東京慈恵会医科大学 講師	竹川 徹
☆	感染対策について	和歌山県立医科大学 講師	梅本 安則
5	言語聴覚療法	和歌山県立医科大学 言語聴覚士	宮崎 友理
6	ナーシング	産業医科大学 看護師長	細田 悦子
7	義肢装具療法	済生会和歌山病院 部長	坂野 元彦
8	薬物療法	宮崎大学医学部 講師	荒川 英樹
9	栄養管理	和歌山県立医科大学 講師	梅本 安則
10	手術療法	奈良県立医科大学 教授	城戸 顕
11	患者心理	産業医科大学 准教授	松嶋 康之
12	ソーシャルワーク	産業医科大学 教授	佐伯 覚

(第2日) 各論

No.	演題等 (各30分)	講師	
		所属	氏名
1	脳血管障害・頭部外傷	和歌山県立医科大学 助教	吉川 達也
2	神経筋疾患	品川リハビリテーション病院 部長	高木 聡
3	脊髄損傷	吉備高原医療リハビリテーションセンター副院長	古澤 一成
4	脊髄疾患・運動器疾患	岩手医科大学 教授	西村 行秀
5	リウマチ性疾患・骨粗鬆症	京都府立医科大学 講師	遠山 将吾
6	切断	ちゅうざん病院 部長	尾川 貴洋
7	がん	神戸大学 教授	酒井 良忠
8	循環器疾患	東京慈恵会医科大学 助教	奥山 由美
9	呼吸器疾患	聖マリアンナ医科大学 教授	佐々木 信幸
10	腎疾患・内分泌代謝性疾患	京都府立医科大学 講師	河崎 敬
11	小児	田辺記念病院 副部長	石田 和也
12	消化器周術期/ICU	済生会和歌山病院 部長	坂野 元彦
13	摂食嚥下障害	和歌山県立医科大学 教授	隅谷 政
14	訪問リハビリテーション	伏虎リハビリテーション病院 院長	中谷 匡登

◆研修プログラム◆

(第3日) その他・教育研究体制・管理運用、修了認定テスト

No.	演題等 (各30分)	講師	
		所属	氏名
1	フレイル他	和歌山県立医科大学 准教授	三上 幸夫
2	疼痛	岩手医科大学 教授	西村 行秀
3	認知症	和歌山県立医科大学 教授	田島 文博
4	福祉用具他	岐阜市民病院 部長	佐々木 裕介
5	ロボット	国際医療福祉大学三田病院	木村 郁夫
6	痙縮治療	東京慈恵会医科大学柏病院 医長	山田 尚基
7	教育・研究体制	横浜市立大学 教授	中村 健
8	管理運用	宝塚医療大学 教授	上西 啓裕
9	まとめの講義	和歌山県立医科大学 准教授	三上 幸夫
	修了認定試験		

合計3日間分プログラムの研修受講と認定試験受験により修了となります

*プログラムは都合により一部変更することがあります。

日本リハビリテーション医学教育推進機構

高齢化が進んだ日本において、リハビリテーション医学・医療が対象とする疾患や障害は、脳血管障害、運動器疾患、循環器や呼吸器などの内部障害、摂食嚥下障害、小児疾患、がんなど広範囲に及び、その重要性がきわめて大きくなっています。

リハビリテーション医学・医療の質を高め、幅広い疾患や障害に対処していくためには、標準的なテキストの作成、レベルの高い研修会の開催、幅広く学べるe-learningシステムの配信などの「教育体制」が必要です。

日本リハビリテーション医学教育推進機構は、このような状況のもと、リハビリテーション医学・医療に関係する25の社員団体が集まり2018年10月に設立されました。各社員団体が力を合わせ、リハビリテーション医学・医療の教育体制の充実に尽力しています。

社員名簿

社員団体名	社員代表者	社員団体役職	社員団体名	社員代表者	社員団体役職
日本リハビリテーション医学会	久保 俊一	理事長	日本スティミュレーションセラピー学会	安保 雅博	理事長
日本急性期リハビリテーション医学会	田島 文博	理事長	日本骨髄間葉系幹細胞治療学会	本望 修	代表理事
日本回復期リハビリテーション医学会	才藤 栄一	理事長	日本骨転移研究会	酒井 良忠	幹事
日本生活期リハビリテーション医学会	水間 正澄	代表理事	日本慢性期医療協会	武久 洋三	会長
日本義肢装具学会	芳賀 信彦	理事長	日本リハビリテーション病院・施設協会	斉藤 正身	会長
日本脊髄障害医学会	島田 洋一	理事長	回復期リハビリテーション病棟協会	三橋 尚志	会長
日本集中治療医学会	西田 修	理事長	慢性期リハビリテーション協会	橋本 康子	会長
日本股関節学会	杉山 肇	理事長	地域包括ケア病棟協会	仲井 培雄	会長
日本在宅医療連合学会	石垣 泰則	代表理事副会長	全国老人保健施設協会	東 憲太郎	会長
日本耳鼻咽喉科学会	村上 信五	理事長	日本理学療法士協会	半田 一登	会長
日本生体電気・物理刺激研究会	徳永 大作	幹事	日本作業療法士協会	中村 春基	会長
日本リウマチリハビリテーション研究会	佐浦 隆一	代表世話人	日本言語聴覚士協会	深浦 順一	会長
日本CAOS研究会	菅野 伸彦	会長	日本義肢装具士協会	野坂 利也	会長
京都リハビリテーション医学会	三上 靖夫	副理事長			

◆参加申込に関して◆

◇申込方法

研修会に参加ご希望の方は、日本リハビリテーション医学教育推進機構のHPに掲載された「研修会の案内」より参加申込書をダウンロード頂き、必要事項をご記入後、メール、または郵送にてご送付をお願いいたします。

申込の際には病院長もしくはリハビリテーション科長の推薦の署名のある方を優先させていただきます。（推薦の無い方でも参加は可能です）

折り返し参加費のお振込み先をご連絡いたします。
入金確認後、受講証と領収書を発行いたします。

日本リハビリテーション医学教育推進機構のHP <http://jrmecc.or.jp/>



<お申込みから登録までの流れ>



- ・参加者のお名前連絡先等必須事項をご記入頂き事務局に送付ください。
- ・申込内容確認後、指定送付先へご請求書を発行送付いたします。
- ・参加者各個人あてに参加登録完了のご案内メールを発送いたします。
- ・特設サイトのご案内に参加登録者個人あてにメール連絡いたします。

◇申込書の送付先

- ・メールの場合: rehabili-kikou@jrmecc.or.jp

- ・郵送の場合: 〒606-0001

京都市左京区岩倉大鷲町4-2-2 国立京都国際会館内
日本リハビリテーション医学教育推進機構研修会担当宛

◇申し込み後のキャンセルについて

研修会申込後にキャンセルされる場合は、必ずメールにてご連絡をお願いします。
ご指定の口座に振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。
但し、1月11日（月）以降のキャンセルについては返金いたしません。

研修会に関するお問い合わせ先

研修会運営事務局 〒106-0032 東京都港区六本木6-15-21（株式会社レイ内）
メールアドレス: rehabili-kikou@jrmecc.co.jp